



2022年1月28日

各 位

会 社 名 株式会社 百五銀行
代 表 者 名 取締役頭取 伊藤 歳恭
(コード:8368 東証第1部、名証第1部)
問 合 せ 先 執行役員経営企画部長 浦田 康寛
(TEL. 059-223-2301)

中期経営計画の策定について

百五銀行（本店 三重県津市、頭取 伊藤 歳恭）は、今後3年間（2022年4月1日～2025年3月31日）を計画期間とする中期経営計画および新長期ビジョンを策定いたしましたので、その内容について下記のとおりお知らせいたします。

記

1 新長期ビジョンについて

(1) 新長期ビジョン

グリーン&コンサルバンクグループをめざして

(2) 新長期ビジョン策定の背景

2019年4月1日～2022年3月31日を計画期間とする中期経営計画「KAI-KAKU150 1st STAGE 『未来へのとびら』」では、「長期ビジョン」として「お客さまと地域の未来を切り拓く『デジタル&コンサルティングバンク』」を掲げました。そして、長期ビジョン実現に向けた「土台作りの3年」として、「収益構造改革」「組織・人材改革」「IT・デジタル改革」に取り組んでまいりました。

今回、新たに中期経営計画を策定するにあたり、当行グループを取り巻く環境の変化や当行グループのこれまでの取組みを踏まえ、「百五銀行グループのめざす姿」を再定義するとともに、「長期ビジョン」を刷新いたしました。

(3) めざす姿

- ・ 百五銀行グループは、地域のカーボンニュートラルへの公正な移行「Just Transition」を支援し、地域社会の持続可能な経済発展に貢献します。
- ・ 百五銀行グループは、課題解決型コンサルティングを実践し、お客さまと地域社会の未来を切り拓きます。
- ・ 百五銀行グループは、IT戦略を継続し、生産性の向上を図るとともに、コンサルティングを通じてお客さまと地域社会のIT化を支援します。

2 新中期経営計画について

(1) 計画名称

KAI-KAKU150 2nd STAGE 「未来へのとびらⅡ」
～ グリーン&コンサルバンクグループをめざして ～

(2) コンセプト

新中期経営計画は、KAI-KAKU150 1st STAGE 「未来へのとびら」にて築き上げた土台をもとに、当行グループが一体となって次のステージに飛躍するための計画です。

新中期経営計画期間を「攻めに転じる3年」と位置付け、新たな施策にチャレンジすることで、当行グループのめざす姿「グリーン&コンサルバンクグループ」の実現に向け邁進いたします。

(3) 5つの基本方針と11の重点戦略

5つの基本方針

- I カーボンニュートラルへの取組みの強化
- II ビジネスモデルの強化
- III 生産性の向上
- IV 経営基盤の強化
- V SDGs/ESGの浸透

11の重点戦略

- 1 カーボンニュートラル戦略
- 2 貸出金収益・役務収益増強戦略
- 3 有価証券戦略
- 4 グループ会社戦略
- 5 チャンネル戦略
- 6 IT戦略
- 7 人材戦略
- 8 ガバナンス戦略
- 9 組織戦略
- 10 ダイバーシティ戦略
- 11 SDGs/ESG戦略

(4) 計数目標

KG I (重要目標達成指標：最終的なゴールの達成度合いを測る指標)

	(2024年度)	(2021年度見込み)
連結当期純利益	150億円以上	130億円
連結ROE(純資産ベース)	3.5%以上※	3.22%
OHR(コア業務粗利益ベース)	67%未満	68.47%
自己資本比率	11%以上	9.87%

※長期的に5%をめざす

K P I（重要業績評価指標：K G I を達成するために必要なプロセスの実行度合いを測る指標）

	(2024 年度)	(2021 年度見込み)
住宅ローン関連手数料	44 億円以上	31 億円
預り資産関連手数料	34 億円以上	27 億円
法人ソリューション手数料	30 億円以上	22 億円
プロフェッショナル資格保有者数※	450 人以上	315 人

※FP1 級技能士, CFP, 中小企業診断士, 税理士, 社会保険労務士, 証券アナリスト, CIA (公認内部監査人)

その他目標

配当性向	長期的に 30%をめぐす
温室効果ガス排出量※	ネットゼロ
サステナブルファイナンス実行額※※ (うち環境関連融資) ※※	1 兆円 (5,000 億円以上)

※Scope1, 2 を対象とした 2030 年度末目標

※※2022 年度からの累計額を対象とした 2030 年度末目標

以 上